

地図記号から見える山口県の産業

山口県 公立小学校教諭

1 調べ学習が意欲になる地図帳の利用

子どもたちの知りたいという気持ちを引き出す導入を考えた。4年生の学習には、副読本が使われているが、調べ学習の導入に地図帳を利用するのである。

2 地図帳に載っている記号でクイズ

山口県の地図を提示する。

発問1 ここは、どこでしょう？

「山口県」と元気が声が返ってくる。そして、次の地図記号を提示する。



発問2 この記号は、ここで何かを作っているという意味です。何を作っているのでしょうか。

「わかった人は、ノートに『1』と書いて、その横に答えを書きなさい」と指示をする。

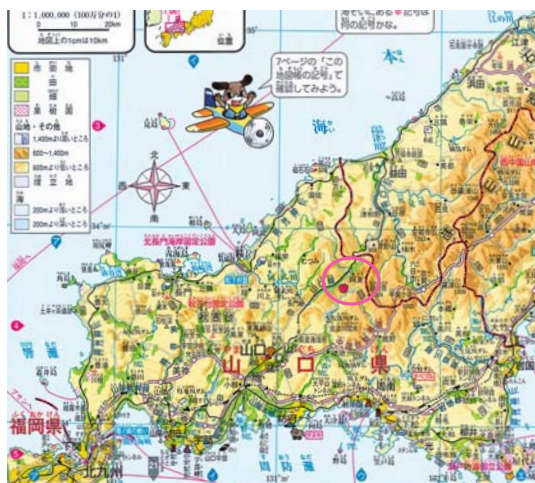
挙手させると、ほとんどの子が手を挙げる。指名すると「りんごです」と答えた。

「正解です」と言うと、一斉に歓声があがった。

発問3 では、山口県のどこにあるのでしょうか？

地図で探すように指示をし、ノートに書かせる。指名し発表させる。「阿東です」

「正解、『1 りんご 阿東』とノートに書いてある人は、まるをつけておきなさい。20点です」





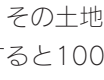

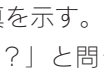



帝国書院『小学生の地図帳（初訂版）』p.23

指示 地図で阿東という地名を探しなさい。みつけたら赤えんぴつで囲んでおきなさい。

きちんと全員ができていっているかどうか、隣同士で確認をさせる。

同じようにして、次の地図記号を提示しながら授業を進める。

- | | | | | |
|---|-------|----|---|---|
| 2 | 自動車工場 | 防府 |  |  |
| 3 | 萩焼 | 萩 |  |  |
| 4 | 化学製品 | 宇部 |  |  |
| 5 | 硯 | 下関 |  |  |

正解を告げるときには、その土地の写真を提示しながら行った。全問正解すると100点である。

最後に豊浦町川棚の写真を示す。

「ここは、どこでしょう？」と問うと一斉に手が挙がる。「川棚一」

「正解です。川棚にはどんな記号がついているかな」という問いに、「温泉」という答えが返ってきた。

温泉の地図記号を示す。



「これから山口県のことをもつと調べていきましょう」と言い、授業を終える。

子どもたちは、地図に載っている記号の意味を考え、地図帳で場所を探した。

3 地図帳から情報を取り出す

以上の実践は、下関市立川棚小学校の4年生を対象に行った授業である。子どもたちは、とても授業に熱中した。

地図にはたくさんの情報が詰め込まれている。地図帳を開くだけでなく、地図記号を一つずつ切り取り、拡大して提示することで全員にわかりやすく授業を進めることができる。

山口県のさまざまな土地の産業について、地図帳を利用することで新たに知識を得ることもできるし、子どもたちの体験を学級で交流させることもできる。

この授業は、パソコンに取り入れたデータを、プロジェクターを使って、スマートボードに映しだして行った。

スマートボードでは、提示する資料の順番を簡単に変更できるし、一部分をその場で拡大もできる。実際に、教師や子どもがペンで書き込むことも可能だ。地図の学習に、これからも活用したい。